

陳 情 文 書 表

受 理 番 号	陳 情 第 2 3 0 号
件 名	新潟市大江山地区の2つの老人憩の家の再編、廃止について
要 旨	<p>新潟市は、令和2年3月に「新潟市公共施設の種類ごとの配置方針」を提案しています。これによると、市内の29か所の老人憩の家の将来構想で、「新たな整備を行わず、施設・整備の補修等は必要最小限とします。また、入浴設備の更新はせず、老朽化や利用率が著しく低い施設は廃止を検討し、将来的には、地域の拠点施設へ機能移転を進めます。」との説明ですが、実質、廃止計画です。</p> <p>大江山地区には、小学校区ごとに2つありますが、住み慣れた安心して過ごせるホットな憩いの場がなくなる計画に、高齢者は驚き、不安に感じています。老人憩の家大江山荘については、数年後の廃止という計画です。私たち地域の先輩は、老人憩の家建設のため、土地の提供、入浴施設の要望運動、利用料有料化への協力、利用者拡大の工夫などに努めてきました。でき得れば、住民はデイサービスの世話にはならず健康でいたいと願っています。また、老人憩の家は、学校以外の唯一の公共施設で、災害時にも大事な避難場所になります。その存続は、新潟市周辺の、大江山地域住民の強い願望です。</p> <p>つきましては、大江山の2つの老人憩の家の再編、廃止はやめてくださいますよう陳情いたします。</p>
付 託 年月日 委員会	令和5年3月9日 市民厚生常任委員会
受 理	令和5年2月22日 第658号